

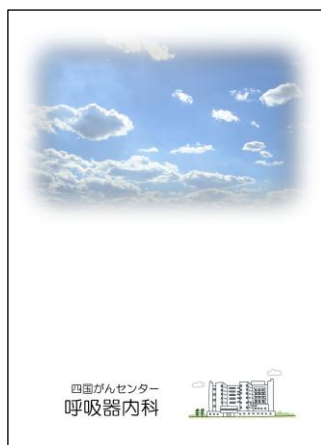


四国がんセンター
呼吸器内科



私たち医療スタッフは

- I 入院や抗がん剤治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いします
- II 抗がん剤治療の副作用や苦痛を軽減し、安全に治療を続けることができるようにお手伝いします



このパンフレットは、退院後も内服方法や副作用症状について確認するために、活用してください

EGFR-TKIを 受けられる方へ

_____さま



主治医/担当医 〔 〕

受け持ち看護師 〔 〕

2017年6月5日 作成
2026年9月14日 改訂

EGFR-TKIについて

非小細胞肺がんの治療で使われる分子標的薬という
種類の抗がん剤です

特定のタイプの肺がんの患者さんに効果が高いと
言われています

お薬の種類

- ☐ ゲフィチニブ
- ☐ タルセバ
- ☐ ジオトリフ
- ☐ ビジンプロ
- ☐ タグリッソ



スキンケアに関する習慣の把握について

この薬は、**皮疹などの皮膚の副作用が出やすい特徴があります**
退院して外来通院となった後も継続的にスキンケアを実践することでそれらの副作用が軽減されます

そのため、日常生活習慣を振り返りながらスキンケアの方法を学んでいくことが重要になります

入院中にご自身の日常生活習慣を振り返りながらスキンケアの方法について看護師から説明がありますので、治療開始日までに以下の該当する項目にチェックをお願いします

食事



・食事を準備するのは誰ですか？

☐自分 ☐家族（ ） ☐その他（ ）

排便

・排便の硬さはどうですか？

☐硬め ☐柔らかめ ☐その他（ ）

活動

・屋外での活動が多いですか？

☐はい 内容（ ） ☐いいえ

入浴

・石けんは何を使いますか？

☐固形石けん ☐液状ソープ ☐泡ソープ

・体はどうやって洗いますか？

☐ナイロンタオル ☐タオル ☐手だけ



お薬



・**薬**はだれが管理していますか？

☐自分 ☐家族（ ） ☐その他（ ）

治療前の歯科受診について

- ◆治療時に起こる口のトラブルを予防し治療が円滑に進むように、治療開始前の歯科診察を行っています
- ◆治療前の歯科受診では、以下を行います
 - ・レントゲン検査・診察（口腔内の状態を診る）
 - ・歯ブラシだけではとれない細菌の除去
 - ・適切なセルフケア（歯磨き、うがい）指導
- ◆通常1～2回の受診で終わることができます

口の中はとても細菌の多い場所です
治療中や治療後にその細菌が悪影響を及ぼすことがあります
特に、治療後の口内炎・肺炎等を防ぐには治療前から口の中をきれいにし細菌をできるだけ減らしておくことが有効です



入院中の生活の注意点

- ◆治療中は免疫力低下のため、感染リスクが高くなります
マスクの着用、手洗い・うがいをしましょう
入院中、手洗いの動画をテレビの無料チャンネルで視聴できます
- ◆口の中は清潔にするように心がけましょう
- ◆排泄を促すために水分をしっかりととりましょう



◆膀胱に尿が溜まったままの状態は、腎臓や膀胱に負担がかかり炎症を起こすことがあります

尿意を感じたら、我慢をしないでトイレに行きましょう

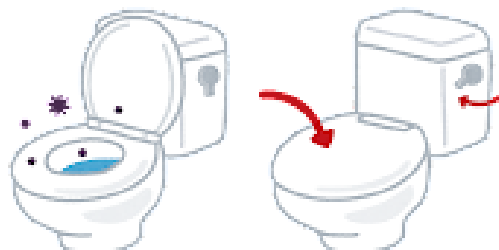
◆排尿時に痛みや残尿感がある場合には、看護師にお伝えください

◆抗がん剤治療開始から治療後2日間ほどは、尿や便などから抗がん剤が排出されます

尿や便に直接触れても健康に直接被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ周りに広げないように以下のことに注意しましょう

- ・尿がこぼれた場合は、トイレットペーパーできれいに拭き取り、トイレに流しましょう
2度拭き取ると良いでしょう

- ・トイレの後、フタがある場合は、**フタをして水を2回流しましょう**



- ・ナプキンや尿とりパッドを使用している場合は、看護師にお知らせください
 - *使用済みのナプキンや尿とりパッドは、ナイロン袋に入れて口を結びましょう
 - *トイレからナースコールを押して、看護師に渡しましょう
- ・トイレのあとは石けんなどでよく手を洗いましょう
- ・尿や吐いてしまったもので衣類が汚れた場合は、ほかの洗濯物と分けて洗濯しましょう

排便について

普段からご自身の便の性状を確認し、入院中に排便調整の日安や方法を医療スタッフと一緒に確認しておきましょう

排便回数が4回以上増えたとき、下記の表の6（泥状便）～7（水様便）の排便が続くとき、周期的に腹痛があるときはすぐに医療スタッフに伝えましょう

3日以上排便がない、いきまないと便が出ない、便は毎日出ているがすっきり感がなく腹部膨満感などの症状があるときは、排便回数や性状によって緩下剤を使用します

※排便の状況や下痢・便秘の辛さは人によって違います
※排便のコントロールが難しい場合は看護師と解決方法を相談しましょう

便の性状について（ブリストルスケール）

ブリストルスケールは、便のタイプ（硬さ）を7種類に分類した世界共通の尺度です

自分の便のタイプを知り、排便調整の参考にしましょう

1	コロコロ便		硬くてコロコロの 兔糞状の便
2	硬い便		ソーセージ状であるが 硬い便
3	やや硬い便		表面にひび割れのある ソーセージ状の便
4	普通便		表面がなめらかで柔らかい ソーセージ状、あるいは 蛇のようなとぐろを巻く便
5	やや軟らかい便		はっきりとしたしわのある 柔らかい半分固形の便
6	泥状便		境界がほぐれて、ふにゃふにゃの不定形の 小片便 泥状の便
7	水様便		水様で、固形物を含まない 液体状の便

ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるように患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院期間は、治療開始から2週間程度の予定です

抗がん剤治療の副作用は、個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるように支援させていただきます



入院当日 月 日



今日の目標

- 入院生活や治療について医療スタッフの説明が理解できる
- わからないことは質問することができる

<時間>

<予定>

入院時

検温
血圧測定
身体測定

【入院後に以下のことを予定しています】

- 看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
- 連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り

採血

胸部レントゲン等

<説明>

- 医師より治療の説明があります
- サインをした同意書は看護師にお渡しください
- 初回治療のときは、管理栄養士より病院食や食事の工夫について説明があります
2回目以降、味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合は、お知らせください
- わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどがありましたら遠慮なくお尋ねください

12:00

昼食

<お薬>

- 他の病院で処方された薬は、一度お預かりします
医師に確認後、続けるか中止するかをお伝えします

18:00

夕食

<食事>

- 食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください
- 基礎疾患（糖尿病、高血圧等）がある方は、治療食になる場合があります

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 入院生活や治療に対する不安がないように支援します



今日の目標

- ・医療スタッフの説明が理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

薬剤師から治療の流れや副作用の説明があります
薬について詳しく記載された治療日誌をお渡しします

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食



TKI 用

EGFR阻害剤の治療を受ける方へ ～スキンケアについて～



四国がんセンター
がん化学療法委員会皮膚障害対策チーム

18:00

夕食

治療までにスキンケアのパンフレットをお渡しします

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- ・治療に対する不安がないように支援します



今日の日標

- ・治療を開始できる
- ・薬を正しく服用することができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
看護師がお持ちします

10:00

検温
血圧測定

吐き気・嘔吐、味覚障害・食欲不振、倦怠感
について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照

12:00

昼食

・EGFR阻害剤の皮膚症状について
・治療の流れについて
・皮膚症状の出る時期を知ろう
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

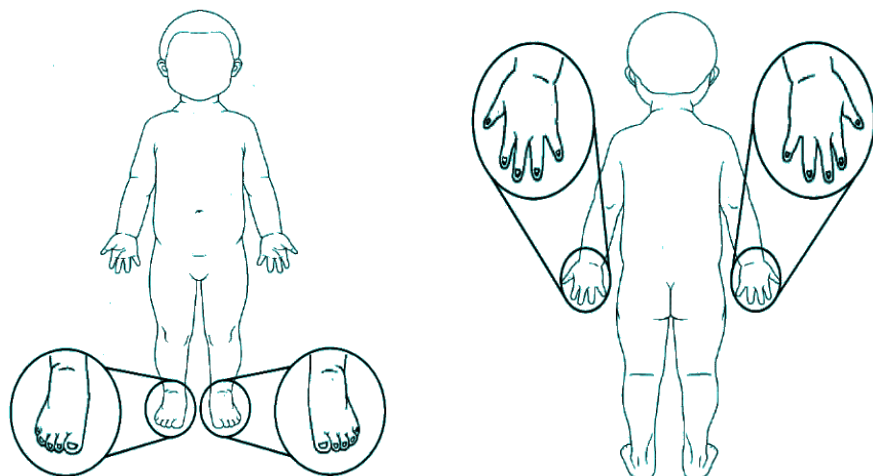
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの日標

- ・薬を正しく服用できるように支援します



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 薬の副作用について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
看護師がお持ちします

10:00

検温

血圧測定

便秘、下痢について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照

12:00

昼食

・スキンケア（肌の手入れ）について
・スキンケア（肌の手入れ）について
洗顔、洗髪、体を洗うときの肌に優しい工夫
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

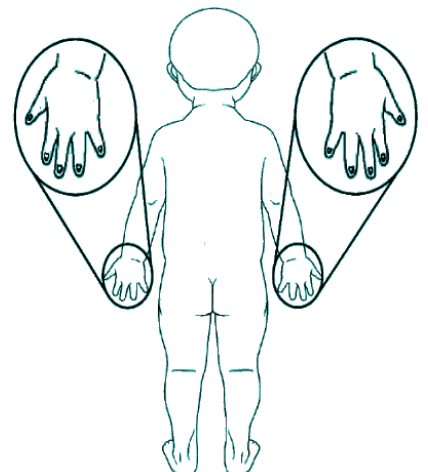
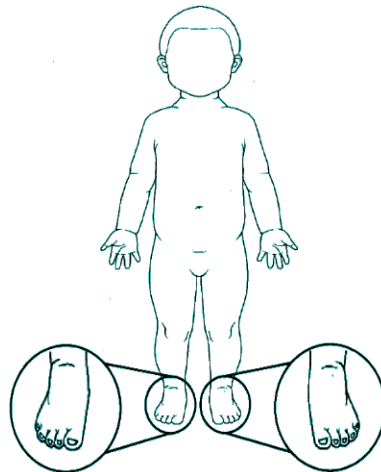
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるように支援します
- 皮膚症状について正しく理解できるように支援します



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 皮膚症状について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
看護師がお持ちします

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

10:00

検温
血圧測定

口内炎、神経障害、皮膚障害、爪のトラブル
について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照
「がん治療による爪のトラブルについて」参照

12:00

昼食

スキンケア（肌の手入れ）について
爪の手入れで気をつけること 爪切り、テーピング
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

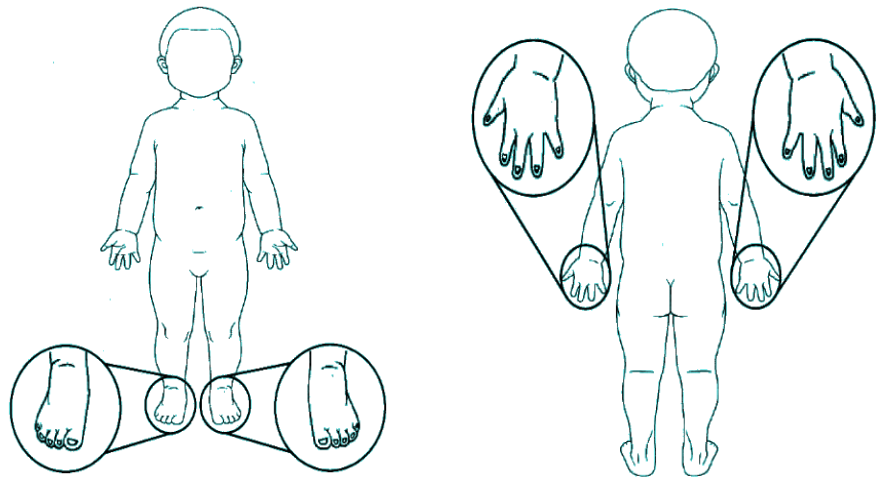
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるように支援します
- 皮膚症状について正しく理解できるように支援します



今日の目標

- ・薬を正しく服用することができる
- ・塗り薬の使い方を学ぶことができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
看護師がお持ちします

10:00

検温
血圧測定

骨髄毒性について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照

12:00

昼食

スキンケア（肌の手入れ）について
外出時に気をつけること、その他注意すること
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

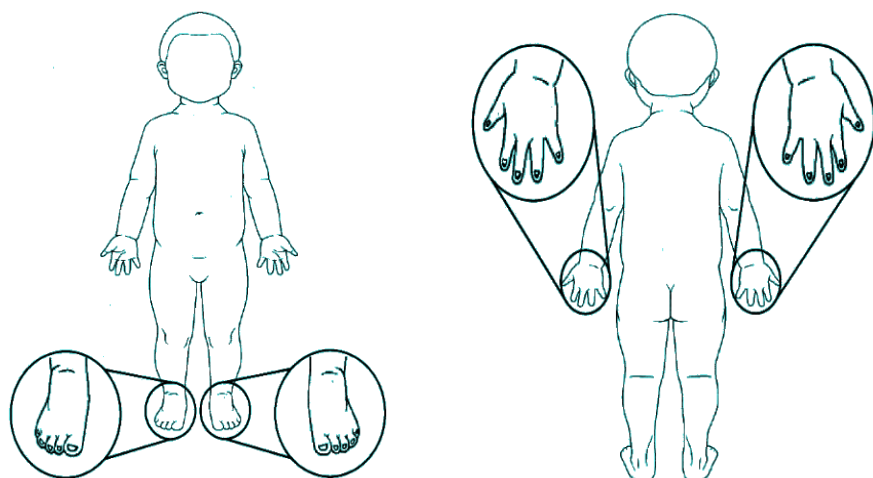
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- ・薬を正しく服用できるように支援します
- ・皮膚症状出現時の塗り薬の種類や使い方について正しく理解できるように支援します



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 日常のスキンケアのポイントを理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
看護師がお持ちします

10:00

検温
血圧測定

肺障害、息切れ・動悸について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照

12:00

昼食

スキンケア（肌の手入れ）について
お化粧で気をつけること
ひげ剃りで気をつけること
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

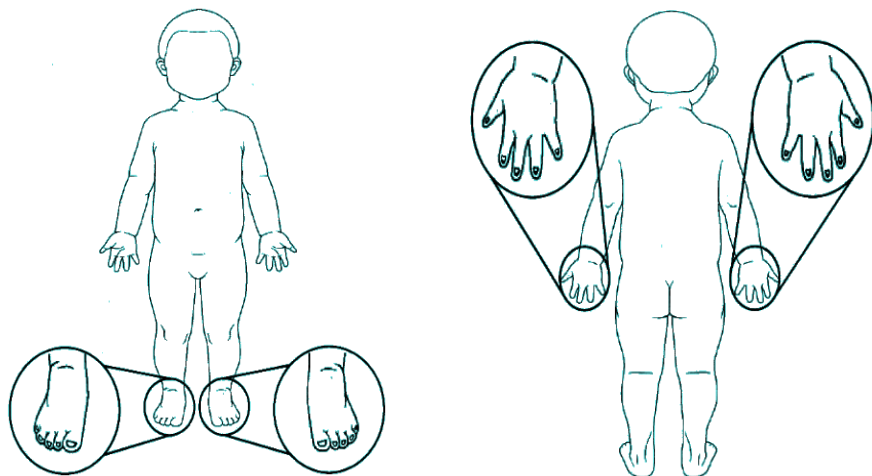
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるように支援します
- 日常生活の注意点について正しく理解できるように支援します



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 爪の手入れ方法を学ぶことができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
看護師がお持ちします

10:00

検温
血圧測定

脱毛について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照
「がん治療による脱毛に備えて(頭髮編)」参照

12:00

昼食

皮膚症状の対処方法について
塗り薬の使い方
ステロイド外用剤とは？、注意すること
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

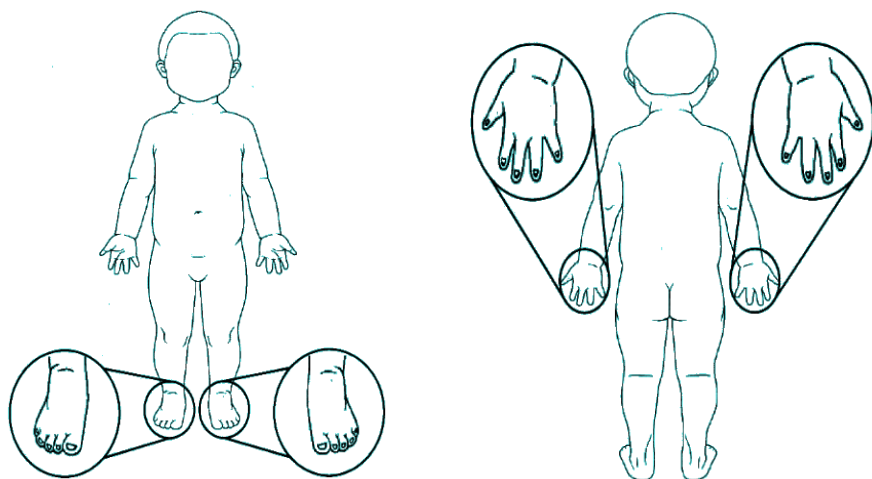
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 薬を正しく服用できるように支援します
- 爪の手入れ方法について正しく理解できるように支援します



今日の目標

- 薬を正しく服用することができる
- 薬を管理することができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
抗がん剤は、ご自分でセーフティー
ボックスに入れて保管しましょう

10:00

検温
血圧測定

腎機能障害、浮腫について説明します
「がん化学療法を受けられる方へ」参照

12:00

昼食

皮膚症状の対処方法について
かゆみがでたとき、飲み薬の使い方
について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

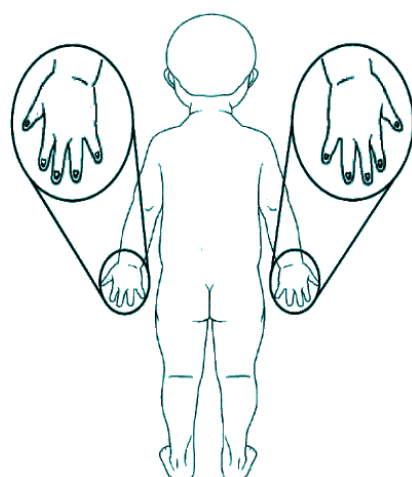
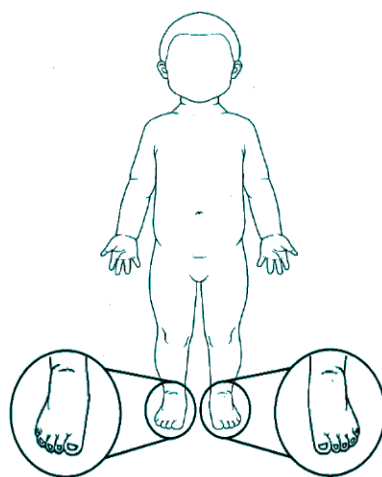
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 薬の自己管理ができるように支援します



今日の目標

- 薬を管理することができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温
血圧測定

採血

胸部レントゲン等

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

- 各薬剤の使用時期について
 - 皮膚障害が悪化したときについて
- 説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

12:00

昼食

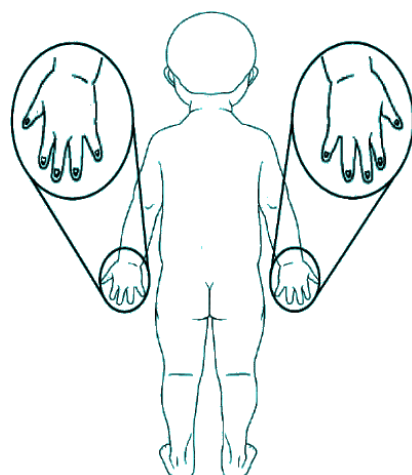
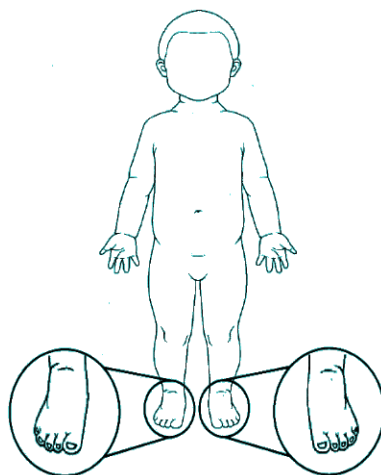
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 薬の自己管理ができるように支援します



今日の目標

- 薬を管理することができる
- 副作用症状への対処行動をとることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食

相談窓口の紹介について説明します
「EGFR阻害剤の治療を受ける方へ」参照

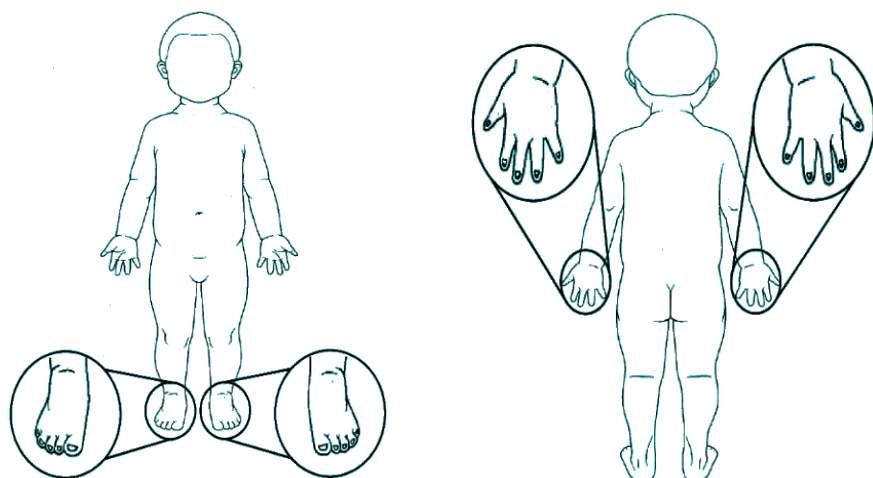
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 皮膚症状出現時の対処方法について
正しく理解できるように支援します

治療10日目～11日目 月 日～ 月 日



今日の目標

- 薬を管理することができる
- 副作用症状への対処行動をとることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食

18:00

夕食

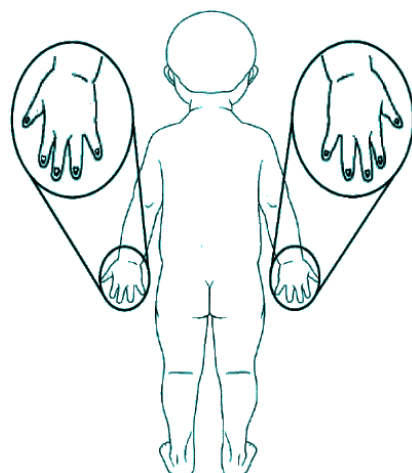
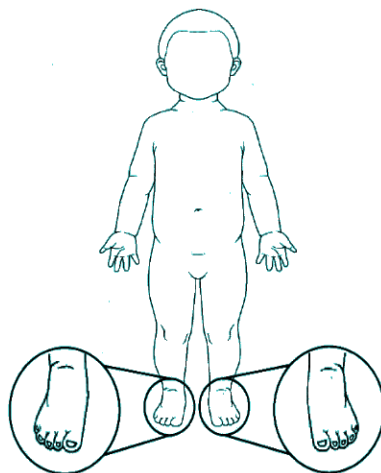
21:30

消灯

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

気になることや皮疹の場所などを記入してください



医療スタッフの目標

- 皮膚症状出現時の対処方法について
正しく理解できるように支援します

治療12日目～13日目 月 日～ 月 日



今日の目標

- 薬を管理することができる
- 副作用症状への対処行動をとることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温
血圧測定

12:00

昼食

18:00

夕食

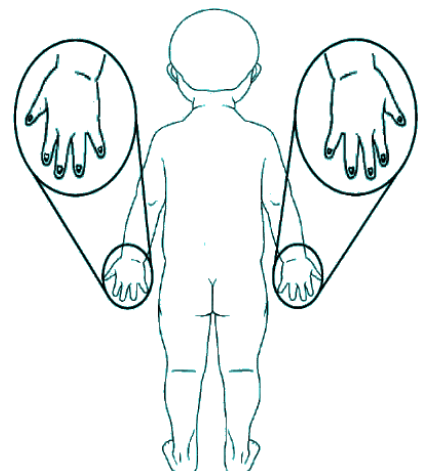
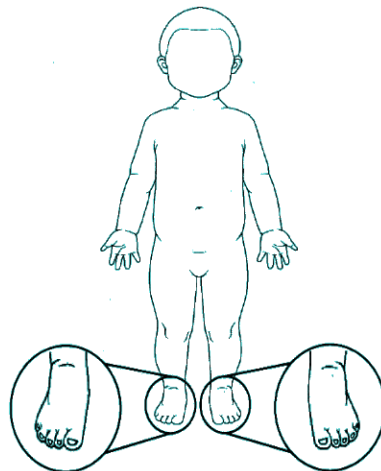
21:30

消灯

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

気になることや皮疹の場所などを記入してください



医療スタッフの目標

- 副作用症状への対処行動をとれるように支援します

治療14日目 月 日



今日の目標

- 薬を管理することができる
- 副作用症状への対処行動をとることができる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

18:00

夕食

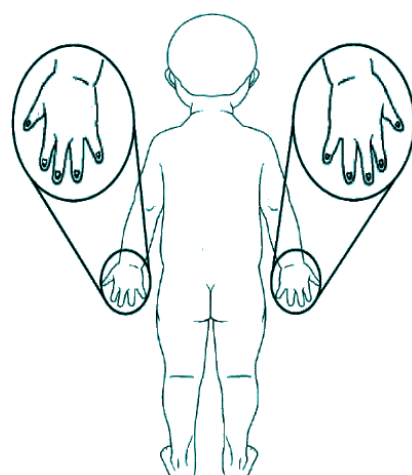
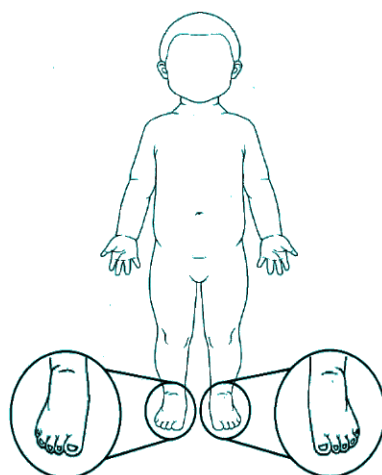
21:30

消灯

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

気になることや皮疹の場所などを記入してください



医療スタッフの目標

- 副作用症状への対処行動をとれるように支援します

治療 15日目

月

日



今日の目標

- 薬を管理することができる
- 退院後の日常生活について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

血液検査
胸部レントゲン等

12:00

昼食

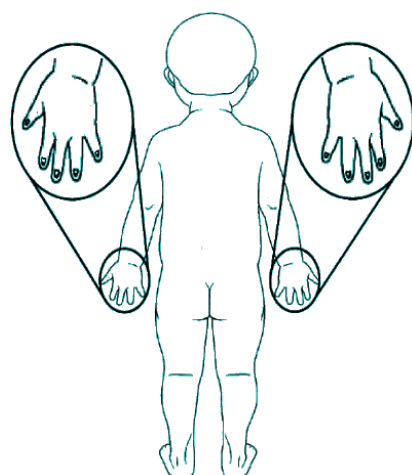
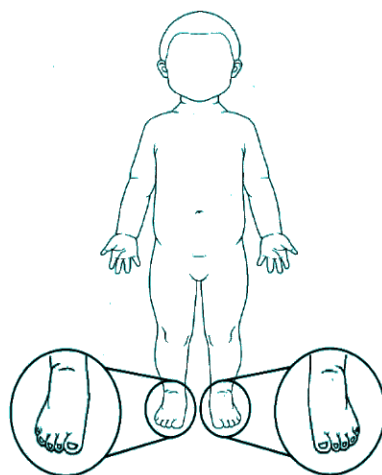
気になることや皮疹の場所などを記入してください

18:00

夕食

21:30

消灯



医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活でわからないことや不安がないように支援します

退院準備期

月

日～

月

日



今日の目標

- 薬を管理することができる
- 退院後の日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床

7:30

朝食

10:00

検温、血圧測定

12:00

昼食

18:00

夕食

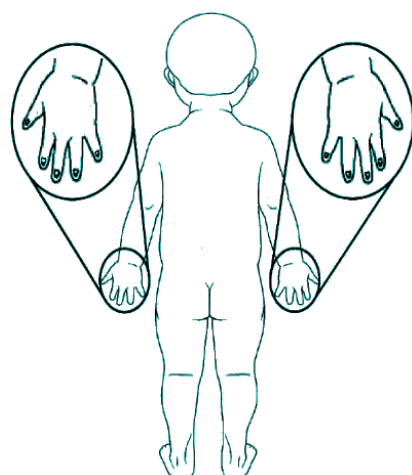
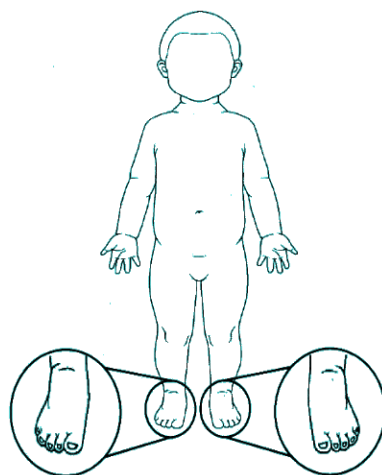
21:30

消灯

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

抗がん剤を服用します
抗がん剤はセーフティーボックスで
保管しましょう

気になることや皮疹の場所などを記入してください



医療スタッフの目標

- 退院後の日常生活でわからないことや不安がないように支援します

退院日 月 日



今日の目標

- ・退院後の日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

治療日記（服薬手帳）を
記入しましょう

7:30

朝食

抗がん剤を服用します

次回外来予約票をお渡しします

10:00

退院

退院前に忘れ物がないように、ご確認ください

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けしますので、
2階医事受付窓口でお支払ください

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活でわからないことや不安がないように支援します



ウィッグ 帽子 ヘア用品
ネックカバーなど



ウィッグ以外にも
お役立ち製品が色々♪



メイク ネイル用品

治療によって脱毛・肌や爪のトラブルが起こる可能性がある方に
上記展示品の案内や試着を行っています

お住まいの自治体によっては、治療に伴うウィッグに関する助成
制度を設けています

詳しくは本館2階『がん相談支援センター』でご相談ください

※暖だんでの販売は行っておりません

気になる製品については、購入方法をお伝えしています

退院後の日常生活について

●発熱・感染予防

白血球が減少し、感染しやすくなることがあります

- ・手洗い、うがいを行いましょう
- ・人混みではマスクを着用しましょう
- ・37.5℃以上の発熱がある場合は、病院へご連絡ください

●呼吸

まれに肺障害が起こることがあります

- ・息苦しさがあるとき
- ・咳が続くとき
- ・息切れが強くなったとき
- ・発熱を伴うとき

このような症状がある場合は、早めにご連絡ください

●皮膚

皮膚症状が現れることがあります

- ・保湿剤を使用しましょう
- ・日焼けを避けましょう
- ・外出時は帽子や日焼け止めを使用しましょう

次のような症状があるときは、医療スタッフへお伝えください

- ・発疹が出たとき
- ・発疹が広がったとき
- ・かゆみが強いとき
- ・皮膚の痛みがあるとき
- ・爪の周囲が赤く腫れたとき

●下痢

下痢が起こることがあります

- ・水分を十分に摂りましょう
- ・消化のよいものを食べましょう

次のような症状があるときはご連絡ください

- ・強い下痢が続くとき
- ・水分が十分に摂れないとき
- ・強い腹痛があるとき

●食事

無理をせず食べられるものを選びましょう

少量ずつ回数を分けて食べることも効果的です

グレープフルーツおよびグレープフルーツを含む食品は避けましょう

味覚障害や食欲不振等がある場合、栄養指導を希望される場合はお気軽にお声かけください

自宅で調理をしている方など、一緒に管理栄養士の話を知りたい方がいる場合は一緒に来院してください



●口腔ケア

毎食後の歯みがきとうがいを続けましょう

口の中を清潔に保ちましょう

口内炎や口の痛みがある場合はご相談ください

●お薬

飲み忘れたときの対応を薬剤師に確認しておきましょう

間違えて一度に多く飲んでしまった場合は、病院へ相談しましょう

自己判断で内服を中止せず、困った症状がある場合は、病院へ相談しましょう

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

服用しても症状が改善されない場合は、病院にご連絡ください



● 治療日記を活用しましょう

毎日の体調や気になる症状を記録しましょう

外来受診時にお持ちいただくことで、体調変化の確認に役立ちます

自宅療養中に気がかりなことがありましたら、外来受診時に「治療日記」をご用意のうえ、主治医にご相談ください

● 活動

体調に合わせて無理なく過ごしましょう

散歩など軽い運動を続けましょう

人混みではマスク着用を心がけましょう

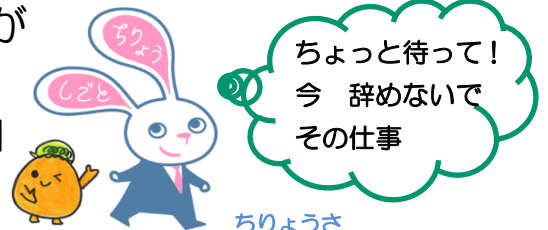


● 仕事

これから先、安心して働き続けるためには

体の状態に合わせた休み方や働き方が必要になることもあります

病院では、患者さんの「働きたい！」をサポートしています



ちりょうさ
厚生労働省『治療と仕事の両立支援』キャラクター

ご相談は、がん相談支援センターへお問い合わせください

● その他

外来受診は、必ず受けるようにしましょう

外見の変化（脱毛、爪、皮膚のくすみなど）に関して

気になることがあれば、患者・家族総合支援センター「暖だん」で情報を用意していますので、お気軽にお立ち寄りください



- 37.5℃以上発熱があるとき
- 息切れや咳が悪化したとき
- 新たに息苦しさや咳が出たとき
- 皮疹が急に増えたとき
- 皮疹が悪化したとき
- 爪の周囲が赤く腫れたとき
- 水分・食事がほとんどとれない日が続くとき
- 口内炎や口の痛みで食事や水分がとれないとき
- 下痢止めを使用しても泥状から水様の便が続くとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8：30～17：15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

翌日以降の外来受診日や検査予約日の変更

【平日】 13：00～17：00
四国がんセンター 予約センター
(直通番号) 089-999-1112



EGFR-TKIを受けられる方へ